

お疲れさまでした！

速
報
文

上演校⑦ 梶山女学園高等学校

「パス & ライト」

紗乃 みなみ 作

シーリングがなくとも光る努力

あらすじ

今回の作品は、演劇部の苦労、悩みなど…あるあるを詰め込みました。沢山共感してくださると嬉しいです。梶山演劇部員が演じる演劇部をぜひ、お楽しみください。

緞帳アップ。照明フェードイン。幕が降りきるその瞬間まで、キャストはシーリングに照らされている。私もあの輝いている舞台に立ちたかった。



お客様の声

- ・部員 1、2 のかけあいがとてもテンポ良く、楽しかった。
- ・コメディとシリアスの割合がちょうど良く、見ていて楽しかった。
- ・試合観戦の場面で音響が工夫されていた。
- ・体の動きだけで笑いを取り、面白さを表現できるところが素晴らしいと思った。
- ・セリフと同じ応援を言っていたシーンが印象的で素敵だった。ラストもとてもよかった。



速報係が見た。この劇の感想！

主人公は、滝川のことを自分とは正反対の人間だと思っていた。部員 2 が「翼をください」の歌詞は逃げていると表現したように、主人公も翼をくださいを歌うことで、滝川から逃げたい、目を背けたいのだろう。バレーボールを隠したのもそれを表現したかったのだろうと思う。ギャグシーンでは、突然の「私、かわいい？」が演劇部の謎のノリ感が強く、普段の自分たちを見ている気分になった。私は小鳥遊の「バカはバカみたいに突き進むから天才になる」という言葉がとても好きで印象に残っている。

担当：富山県生徒実行委員会 速報係 二谷、常川